

協会ニュース

平成19年 9 月 27 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川3丁目5番9号 世良ビル404号
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp
URL: <http://qmac.jp/>

平成19年度 第2回シンポジウム「IT 戦略と経営革新」 ～不測の事態を生延びる事業継続マネジメントと情報通信技術～

- ◆開催日時 平成19年9月26日(水) 13:30～17:05
- ◆場 所 広島インテスビル 14階会議室 (広島市中区)
- ◆参加者 22社 113名

事業継続計画(BCP)及び事業継続マネジメント(BCM)に関するITシンポジウムが、平成19年9月26日に広島インテスビルにおいて、113名という多数の参加者のもと、盛大に開催されました。

最初に清水建設(株)プロポーザル本部副本部長栗山茂樹氏から”自然災害を想定した事業継続マネジメント”と題して災害危険度、災害事例、事業継続の概念・事例、BCP策定状況、中国地方の地震の可能性、地震防災診断など事例を中心について説明を頂きました。阪神淡路震災の特撮映像はとも印象的でした。また、地震を想定したBCPは具体的で参加者に役立ったと思われます。

次に(株)富士通総研シニアマネージングコンサルタント 古本 勉氏により”複合ビジネス企業における事業継続マネジメント”と題してBCM,取組の背景、標準化の同行、策定のポイント、発生時に対応手順、教育と訓練、ITサービスにおけるBCMおよび経営管理手法としてのBCMについて具体的にわかりやすい紹介が行われました。終始語りかけるような口調で、実例を交えながらの講演で、BCMの概念が具体的でわかりやすかったと好評でした。

さらに広島ガス(株)環境担当部長 蓮池俊治氏、清水建設(株)防災ソリューション部長 前林和彦氏が参加し、4名でのパネルディスカッションが実施されました。最初に蓮池氏から“広島ガスにおける防災対策などの取組”を紹介いただきました。古本氏の司会で、建築構造(耐震)の立場からの情報提供、情報通信技術の利用、情報システムに関する情報提供や会場からの質疑対応が行われました。また、会場の参加者から阪神淡路震災の体験を通じた意見披露などがあり活発な討論になりました。

事業継続計画(BCP)及び事業継続マネジメント(BCM)の概念から具体的策定、運用までの幅広い内容が判りやすく紹介され、BCP策定担当者のみならず参加者各階層でも大変参考となったとの声が聞かれ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



清水建設 栗山茂樹氏



会場の様子



富士通総研 古本 勉氏



清水建設 前林和彦氏



パネル討論の様子



広島ガス 蓮池俊治氏